

「おめでとうございます」富合校区成人式

会場 アスパル富合ホール

平成 24 年富合町成人式は 1 月 8 日、荒木美幸さんのピアノ演奏「ありがとう」で始まりました。「“ありがとう”って伝えたくて」とピアノに合わせて口ずさみ、心に刻んだのではないのでしょうか。村崎富合町合併特例区長は「おめでとうございます。若いエネルギーで活気ある富合町を」と祝辞。くつき市議は「青年は未来に向かって、大地にしっかり足をつけて」と 20 年前の出来事を振り返りながら激励。会場の多くの保護者の方もまた、それぞれの 20 年を振り返られたことでしょう。富合町では今年 86 名が成人式を迎えました。出席者は 71 人。富合中卒業生は 74 名です。



「ありがとうございました」

新成人代表 伊津野 琴美 (木原)

本日は、二十歳を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な成人式を開催して頂き誠にありがとうございました。私たちは 5 年前、皆さまの温かい祝福を受けてそれぞれの道へと歩み始めました。今では就職し仕事に打ち込んでいる人、あるいは進学して勉学に励んでいる人など形は違えど、ふるさとである富合町に集い、成長した姿を皆さまに見ていただくことができるとてもうれしく思っています。



今日に至るまでに社会では様々なことが起こりました。去年は東北で未曾有の大震災があり、東北の方々だけでなく日本全体を不安にさせたことは記憶に新しいと思います。私たちが待ち受ける社会は決して明るいだけではないという現実を目の当たりにしました。しかし、過酷な状況の中もお互いを思いやり、復興を信じて強く生きる被災者の方々に勇気づけられました。私たちが遠い九州にいますが、この厳しい今の状況に負けないよう強く希望を持って自分の未来、地域の未来、日本の未来を切り開いていきたいと思えます。そして、私たちが一番忘れてならないものに気付かされました。それは「絆」です。私たちが今日この日を迎えるにあたって、多くの人たちに支えられてきました。こうして二十歳を迎えることができたのは自分ひとりの力ではないということ、家族、友人、地域の方々などたくさんの絆の中に自分という存在があるのだということ強く感じています。

現在の日本の景気や雇用の状況からわかるように、これから生きていく中で、苦しいことは必ずあるでしょう。しかし、下を向くのではなく、希望や信念を持って逆境に立ち向かっていきたいと思っています。そして、ひとりの社会人としてこれからは自分のためだけでなく社会に貢献できるよう努力していきたいと思っています。